参 考 資 料

参考資料１－１　障害者の在宅就業に関するアンケート（支援団体用）（調査Ⅰ）

参考資料１－２　障害者の在宅就業に関するアンケート（個人用）（調査Ⅱ）

参考資料１－３　障害者の就業支援団体への発注等に関するアンケート（企業等用）（調査Ⅲ）

参考資料２－１　自治体における配慮型発注施策の取組状況

参考資料３－１　障害者の就業と業務受注に関するアンケート調査票

参考資料３－２　業務発注と障害者の就業に関するアンケート調査票

参考資料1-1

（調査Ⅰ）

障害者の就業支援に関するアンケート

（支援団体用）

団体名	
所在地	〒
担当者	
電　話	
E-MAILアドレス	

問１　貴団体の概要についてお伺いします。

(1) 貴団体は法人格を有していますか。また、その法人格は何ですか。当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

法人格あり	社会福祉法人	1
	社団法人	2
	財団法人	3
	特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）	4
	株式会社	5
	有限会社	6
	その他（　　）	7
法人格なし		8

(2) 貴団体が設立されたのはいつですか。設立年を記入してください。

（昭和・平成）　　年

(3) 貴団体の設立に当たり、国や地方公共団体、社会福祉法人、企業等が関与していましたか。もっともよく当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

国又は地方公共団体の主導により設立された	1
自主的に設立されたものであるが、設立時に国又は地方公共団体の人的又は財政的支援を受けた	2
社会福祉法人の主導又は人的若しくは財政的支援を受けて設立された	3
企業の主導又は人的若しくは財政的支援を受けて設立された	4
どこからも関与を受けずに設立された	5
その他（具体的に　　）	6

問２　貴団体で実施している事業の一環として、障害者を対象とした以下のような業務を行っていますか。実施しているものを全て選んで番号を○で囲んでください。また、それらの業務は有料で行っていますか、無料で行っていますか。選んだ業務のそれぞれにつき、有料・無料のいずれか当てはまる方を○で囲んでください。

	実施の有無	有料・無料の別
障害者のための仕事の情報を収集し、就業を希望している障害者にその情報を提供したり、紹介・あっせんしたりする	1	有料・無料
就業を希望している障害者を登録し、企業等に対して障害者に関する情報を提供したり、紹介・あっせんしたりする	2	有料・無料
企業等から仕事を請け負い、障害者に仕事を分配する	3	有料・無料（＊）
障害者を対象に、仕事に必要な技能に関する講習や訓練を行う	4	有料・無料
就業している障害者又は就業を希望している障害者に対し、パソコン等の機材を提供する	5	有料・無料
就業している障害者に対し、事務所等の場所を提供する	6	有料・無料
就業を希望している障害者を対象に、仕事の探し方や必要な技能の身につけ方等に関する相談、助言を行う	7	有料・無料
パソコン等の機材・ソフトの使用法やトラブル解決等、実際に仕事をしながらの技術的な指導・援助を行う	8	有料・無料
雇用主や取引先企業とのトラブル解決に関する相談・援助を行う	9	有料・無料
就業している障害者や就業を希望している障害者など同じ境遇にある障害者同士の情報交換や交流のための機会の提供	10	有料・無料
１～10以外に、障害者の就業を支援する業務（具体的に　　）	11	有料・無料

（＊）３（企業等から仕事を請け負い、障害者に仕事を分配する）については、仕事の分配を受けようとする障害者の登録料等を徴収する場合のほか、発注元の企業等から受け取る金額から材料費等以外にマージン等を差し引いて障害者に報酬を支払っている場合等は「有料」としてください。

問３　貴団体では、問２でお答えいただいたもの以外に、何か事業を行っていますか。当てはまるものを全て選んで番号を○で囲んでください。

障害者のための福祉その他のサービスに関する事業	身体障害者更生施設、身体障害者療護施設又は身体障害者福祉ホーム　(※1)	1
	身体障害者授産施設(※1)	2
	身体障害者居宅介護等事業、身体障害者デイサービス事業、身体障害者短期入所事業又は身体障害者相談支援事業　(※2)	3
	知的障害者更生施設、知的障害者福祉ホーム又は知的障害者通勤寮(※3)	4
	知的障害者授産施設(※3)	5
	知的障害者居宅介護等事業、知的障害者短期入所事業、知的障害者地域生活援助事業又は知的障害者相談支援事業　(※4)	6
	精神障害者社会復帰施設又は精神障害者居宅生活支援事業(※5)	7
	１～７以外で、障害者のための相談・支援の事業（下記の 10、11、12 に該当する場合を除く）	8
事業目的を特に障害者の支援に限定していない事業	高齢者や児童、低所得者等を対象とした福祉サービスの事業	9
	労働者派遣事業	10
	職業紹介事業	11
	SOHO 支援事業（SOHO のための仕事の仲介。オフィス又はパソコン等の機器の貸与を行う事業を含む）	12
	編集・出版・DTP・印刷の事業	13
	データ入力・テープ起こし・文書作成等のサービスの事業	14
	ホームページ企画・開発・制作の事業	15
	情報処理サービス業（12～15 に該当するものを除く）	16
	1 ～ 16 に当てはまるものがない→主な事業内容を簡単に記入してください（　　）	17

※1　身体障害者福祉法第五条

※2　身体障害者福祉法第四条の二

※3　知的障害者福祉法第五条

※4　知的障害者福祉法第四条

※5　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第五十条～第五十条の三の四

問４　問２で選んだ業務についてお伺いします。

(1) 問２で選んだ業務は、どのような就業形態の障害者を対象に行っていますか。イ、ロのそれぞれについて、もっともよく当てはまるものを一つずつ選んで番号を○で囲んでください。

イ　雇用・請負の別

企業等に雇用されて働く者を対象にして行っている	1
雇用されずに請負などの形態で働く者を対象にして行っている	2
雇用・請負のいずれの形態で働く者も対象にして行っている	3

※ここでいう「企業等」には、国や地方公共団体の機関、各種の法人、個人事業主等を含みます（以下同じ）。

ロ　就業場所

通勤して働く者を対象にして行っている	1
通勤せずに在宅、施設、サテライトオフィス等で働く者を対象にして行っている	2
就業場所にかかわらず対象にしている	3

(2) 問２で選んだ業務に係る運営費の総額は、どのくらいですか。また、その運営費は、どのような収入によってまかなっていますか。それら業務に係る運営費の総額を記入の上、収入の種類ごとに、その運営費に占める割合がそれぞれ約何パーセントかを記入してください（なるべく平成 13 年度の実績でお答えください）。

イ　問２で選んだ業務に係る運営費の総額　　約 [　　] 万円

ロ　イの運営費に占める収入の種類ごとの割合

請け負った仕事に係る報酬(仲介マージン)、各種手数料等、問２で選んだ業務に係る事業収入	約　　%
上記以外の貴団体の事業に係る収入	約　　%
国からの補助	約　　%
国からの事業委託	約　　%
地方自治体からの補助	約　　%
地方自治体からの事業委託	約　　%
公益法人等からの助成等	約　　%
寄付	約　　%
その他(具体的に　　)	約　　%

(3) 貴団体のスタッフは全体で何名いますか。また、そのうち、問２で選んだ業務に従事しているスタッフはＡ～Ｃの内訳ごとに何名いますか。人数を記入してください。

イ　団体全体のスタッフ　　名、

ロ　うち問２で選んだ業務に従事している者
　　名

→ 内訳

Ａ　専任職員	名
Ｂ　他の事業・活動との兼任の職員	名
Ｃ　団体外部の協力者	名

(4) (3)のロでお答えいただいた、問２で選んだ業務に従事しているスタッフのうち、以下の資格を取得している者はそれぞれ何名いますか。人数を記入してください。

Ａ　社会福祉士	名
Ｂ　精神保健福祉士	名
Ｃ　産業カウンセラー	名
Ｄ　ソフトウェア開発技術者又は第１種情報処理技術者	名
Ｅ　基本情報技術者又は第２種情報処理技術者	名
Ｆ　上級システムアドミニストレータ	名
Ｇ　初級システムアドミニストレータ	名
Ｈ　その他の資格※（具体的に　　）	名

※問２で選んだ業務内容にかかわりのある資格のみ記入願います。

(5) 問２で選んだ業務による支援についての障害者に対する周知・広報は、どのような方法で実施していますか。当てはまるものを全て選んで番号を○で囲んでください。

ホームページによる広報	1
市、県等の広報紙等での広報掲載	2
新聞や雑誌への広告掲載	3
ポスターの掲示、チラシ・パンフレットの配布	4
学校、社会福祉施設からの紹介	5
友人・知人の紹介の活用	6
その他(具体的に　　)	7

問５　問２の選択肢のうちの１、２の事業（障害者のための仕事や就業を希望している障害者に関する情報の提供、紹介・あっせん）を行っている団体にお伺いします。平成11～13年度の3カ年中に、貴団体による情報提供、紹介・あっせん業務を通じて、就職に至った障害者の人数をお答えください。（複数の障害がある方については、障害の程度が最も重いと思われるものについて記入してください。障害種別ごとの人数が不明な場合は、障害種別不明の欄に人数を記入してください。）

（1人の人が1年間に2回就職した場合には2人としてカウントした延べ人数を記入してください。）

	平成11年度	平成12年度	平成13年度
A　企業等に雇用されて通勤して働くようになった	名	名	名
身体障害	名	名	名
視覚障害	名	名	名
聴覚・言語障害	名	名	名
肢体不自由	名	名	名
内部障害	名	名	名
知的障害	名	名	名
精神障害	名	名	名
その他の障害	名	名	名
障害種別不明	名	名	名
B　企業等に雇用されて在宅勤務で働くようになった	名	名	名
身体障害	名	名	名
視覚障害	名	名	名
聴覚・言語障害	名	名	名
肢体不自由	名	名	名
内部障害	名	名	名
知的障害	名	名	名
精神障害	名	名	名
その他の障害	名	名	名
障害種別不明	名	名	名

問６　問２の選択肢のうちの４の業務（障害者を対象とした、仕事に必要な技能に関する講習や訓練）を行っている団体にお伺いします。平成 13 年度中における講習や訓練の実施状況を以下の表に記入してください。

講習・訓練の種類(コース)	１回当たりの日数	年間実施回数	受講者数
	日	回	名
	日	回	名
	日	回	名
	日	回	名
	日	回	名
	日	回	名
	日	回	名
	日	回	名
	日	回	名
	日	回	名

問７　問２の選択肢のうちの３の業務（企業等から仕事を請け負い、障害者に仕事を分配する）を実施している団体にお伺いします。

(1) 貴団体は平成 13 年度中に、企業等からどれくらいの仕事の受注を受けましたか。受注した仕事をすべて選んで番号を○で囲んだ上で、分かる範囲で、その内容ごとの企業等の実数と延べ受注件数、受注額を記入してください。また、合計の企業等の実数と延べ受注件数、受注額を記入してください。

	受注の有無	受注企業数	延べ受注件数	受注額
文書入力	1	社	件	万円
テープ起こし	2	社	件	万円
データ入力	3	社	件	万円
ホームページ作成	4	社	件	万円
システム設計	5	社	件	万円
プログラミ ング	6	社	件	万円
計算処理・情報検索	7	社	件	万円
設計・製図・デザイン	8	社	件	万円
DTP（編集）・電算写植	9	社	件	万円
ライター・ 翻訳	10	社	件	万円
調査・コンサルティング	11	社	件	万円
取引文書作成、伝票整理	12	社	件	万円
その他(具体的に　　)	13	社	件	万円
その他(具体的に　　)	14	社	件	万円
合　　計		社	件	万円

(2) 貴団体が請け負った仕事の分配を受けるために登録している障害者は何人いますか。仕事の分配を希望するものとして貴団体が登録を受け付けている障害者の人数をお答えください（実際に仕事の分配を行ったことがあるかどうかにかかわらず平成 15 年 1 月 1 日時点で登録している人数をお答えください。※）

※　複数の障害がある方については障害の程度が最も重いと思われるものについて記入してください。障害種別ごとの人数が不明な場合は、障害種別不明の欄に人数を記入してください。

平成 15 年 1 月 1 日時点で仕事の分配対象として登録している障害者の数	名
身体障害	名
視覚障害	名
聴覚・言語障害	名
肢体不自由	名
内部障害	名
知的障害	名
精神障害	名
その他の障害	名
障害種別不明	名

(3) 平成 13 年度中の 1 年間において、貴団体は、実際に仕事の分配をした障害者に対し、その分配した仕事に係る報酬としてどの程度の金額を支払いましたか。（1 人 1 年間の合計の金額につき支払った報酬のレベルごとに人数を記入して下さい。）

500 万円以上	名
300 万円～ 500 万円未満	名
200 万円～ 300 万円未満	名
150 万円～ 200 万円未満	名
100 万円～ 150 万円未満	名
75 万円～ 100 万円未満	名
50 万円～ 75 万円未満	名
25 万円～ 50 万円未満	名
25 万円未満※	名
不明	名

※　支払った報酬が 0 円の人数は記入しないでください。

(4)　平成13年度中に貴団体が実際に仕事を分配した障害者の数をその就業場所ごとにお答えください。

A　当該障害者の自宅	名
B　貴団体の入所施設	名
C　入所施設（B以外）	名
D　貴団体の通所授産施設、作業所	名
E　通所授産施設、作業所（D以外）	名
F　授産施設、作業所以外の作業スペース※（貴団体の運営するもの）	名
G　授産施設、作業所以外の作業スペース※（F以外）	名
H　その他（具体的に　　）	名
I　不明	名

※　いわゆるサテライトオフィス、テレワークセンター等

(5) 貴団体は、貴団体から仕事を分配している個々人の障害者の就業状況に関し、以下の事項を把握していますか。把握しているものを全て選んで番号を○で囲んでください。技能レベル、資格の取得状況については、その把握方法についてもお答え下さい。

パソコン等の機器の設備の状況	1
使用できるソフトの状況	2
技能レベル、資格の取得状況	3
労働時間	4
障害種別、程度	5
健康状態	6
1～6のいずれも把握していない	7

→ 技能レベル、資格の取得状況の把握方法

登録時にテストをしている	1
必要な技能についての講習や訓練の中で把握している	2
登録時の面接等で自己評価、取得している資格について聴取している	3
仕事を分配するときに、仕事の内容を示した上で、できるかどうか本人に確認している	4
その他（具体的に　　）	5

(6) 仕事を分配する障害者を選考する際、以下のA～Hの事項についてどの程度重視していますか。各事項ごとに、下の１～５のうちのもっともよく当てはまるものの番号をそれぞれ記入してください。また、その他に重視している事項があれば記入してください。

A　責任感、信頼性	
B　仕事への意欲、積極性	
C　技能、熟練度	
D　情報関連機器等の設備状況	
E　自己管理能力	
F　類似の業務の請負実績	
G　その仕事への応募の早さの順位	
H　登録している障害者の間で均等に仕事を配分すること	

非常に重視している……１
まあ重視している……２
どちらともいえない……３
あまり重視していない…４
全く考慮していない……５

その他に重視している事項

(7) 企業等からの仕事の受注を促進するためにどのような活動をされていますか。該当するものを全て選んで番号に○をつけて下さい。また、企業等に個別に電話、手紙、訪問等による営業を行っている場合には、訪問先の企業等をどのような方法で探しているかについてもお答え下さい。

企業等への個別の電話、手紙、訪問等による営業	1
ホームページによる広報	2
市、県等の広報紙等での広報掲載	3
新聞や雑誌への広告掲載	4
ポスターの掲示、チラシ・パンフレットの配布	5
友人・知人の紹介の活用	6
その他(　　)	7
営業活動は特に行なっていない	8

→ 訪問先企業を探す方法（該当するものを全て選択）

新聞に掲載されている求人広告等から受注できそうな業務を推測して	1
ハローワーク等に出ている求人の内容から受注できそうな業務を推測して	2
インターネットで事業内容等を見て	3
電話帳で調べて	4
他の企業等からの情報で	5
友人・知人からの情報で	6
その他（　　）	7

(8) 企業等から仕事を受注する際の料金の設定に関し、当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

他の同業者と同じ水準になるように設定している	1
他の同業者より安くなるように設定している	2
他の同業者より高く設定している	3
その時によっていろいろなのでなんともいえない	4
その他（具体的に　　）	5

(9)企業等から仕事を受注し障害者に分配する業務にあたっての問題点は何ですか。当てはまるものを３つまで選んで問題の大きいものから順に１、２、３と番号を記入してください。

A　仕事を希望する障害者に見合う受注量の確保が難しい	
B　障害者の就業に関する企業等の理解が乏しい	
C　受注する仕事と障害者の技術水準が合わない	
D　仕事の分配の対象となる障害者の評価、管理が難しい	
E　仕事の分配の調整に手間がかかる	
F　必要な技術や知識を持ったスタッフの確保が難しい	
G　運営費の確保が難しい	
H　パソコン等の情報通信機器の整備に費用がかかる	
I　最新のソフト等を揃えるのに費用がかかる	
J　その他（　　）	

(10) 受注量を増やすためには何が必要だと思いますか。当てはまるものを３つまで選んで重要だと思うものから順に１、２、３と番号を記入してください。

A　営業努力	
B　障害者の能力（品質）の向上	
C　価格の低下	
D　仕事のスピードの向上	
E　企業等における業務のアウトソーシングが進むこと	
F　国や地方公共団体からの優先的な発注	
G　支援団体の存在についての国や地方公共団体による啓発・広報	
H　発注に関する企業の動機づけを高めるような制度 （具体的に　　）	
I　その他（　　）	

問８　障害者の在宅就業に関しご意見がありましたら、御自由に記入してください。

以上で、アンケートは終りです。ご協力ありがとうございました。

企業等や障害者を対象としたアンケート調査へのご協力のお願い

本アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました。

厚生労働省では、障害者の在宅就業者等への発注が更に進むための条件整備や障害者の就業状況や問題点、希望等の把握のため、本アンケートに加え、企業や障害者本人へのアンケート調査を企画しています。

つきましては、①貴団体から仕事の分配を受けるために貴団体に登録している障害者や、②貴団体に仕事を発注している企業、団体に対し、アンケート調査票の配布をお願いできませんでしょうか。

もちろん、配布をお願いするだけで、回収のお手数をおかけすることはありません。（回答者から直接事務局に返送いただくことになります。）

また、調査の結果は全て統計的に集計を行い、個別の企業等や障害者の回答内容が外部に公表されることはありません。なお、障害者を対象とした調査については、無記名でお答えいただく予定です。

何卒ご協力をお願いします。

ご協力いただけるかどうかについて、いずれかの番号を○で囲んでください。

1　アンケート調査に協力できる－－－＞　後日調査票をお送りしますのでよろしくお願いします。

2　アンケート調査に協力できない

この調査の趣旨や回答の記入方法に関し、不明な点等がありましたら、下記にお問い合わせ下さい。

＜日本障害者雇用促進協会　障害者職業総合センター　雇用開発研究部門＞
〒261-0014　千葉県千葉市美浜区若葉 1-3-3
電話 043-297-9069, 043-297-9034　　FAX 043-297-9058
E-MAIL:　　Survey.Kaitou@nivr.jaed.or.jp

参考資料１－２　　（調査 II ）

障害者の就業支援に関するアンケート

（　個人用　）

障害者在宅就業仲介(支援)団体名	

他の団体からもこのアンケートを受け取った場合には、最も多く仕事の分配を受けている団体から受け取ったアンケートにのみご回答ください（それ以外の団体から受け取ったアンケートは返送しなくてけっこうです)。

なお、他にこのアンケートを配布してきた団体があったかどうか等については、問１でおたずねしています。

・このアンケートは、障害があるご本人に記入していただくものです。
・ご本人の障害の状況などから本人が記入できない場合で、配偶者や保護者等が代わりに記入する場合には、あくまでもご本人の意見に従って記入してください。
・ご本人の意見に従って記入する場合は、下に本人との関係を記入してください。

本人との関係〔　　〕

Ⅰ　このアンケートを受け取った経路について

問１　あなたは、このアンケートを他の団体からも受け取りましたか。いずれか当てはまるものの番号を○で囲んでください。表紙に書いてある団体以外のところからも同じアンケートを受け取った場合には、その団体の名称を記入してください。

このアンケートの表紙に書いてある団体のみから受け取った	1
このアンケートの表紙に書いてある団体以外のところからも受け取った	2

→ 他の団体からもアンケートを受け取った場合、その団体の名称

Ⅱ　請負の仕事全般について

問２から問 11 までは、このアンケートを配布してきた団体（このアンケートの表紙に書いてある団体のことです。以下「アンケート配布団体」と言います。）だけではなく、それ以外のものも含めて、あなたが団体や企業などから納期や対価を決めて発注されて行う仕事（以下「請負の仕事」といいます。）全般についてお答えください。

問２　あなたが請負の仕事を行う場所はどこですか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。そのうち、最もよく利用するものの番号は◎で囲んでください。

自宅	1
入所している施設	2
通所している授産施設、作業所	3
通所授産施設、作業所以外の作業スペース（いわゆるサテライトオフィス、テレワークセンター等）	4
その他（　　）	5

問３　あなたが請負の仕事をするようになってから、どのくらいの期間が経ちましたか。当てはまるものを一つ選んで、番号を○で囲んでください。

なお、５年以上の期間が経った方は、参考までに（　　）内に１年単位で概ねの期間をご記入ください。

始めたばかり（３ヶ月未満）	1
３ヶ月以上　６ヶ月未満	2
６ヶ月以上　１年未満	3
１年以上　３年未満	4
３年以上　５年未満	5
５年以上（概ね　　年程度）	6

問４　あなたが請負の仕事をするようになったきっかけは何ですか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。そのうち最も大きな要因に当てはまるものは◎で囲んでください。また、７を選んだ場合には、就職が難しいと思った理由を記入してください。

知人･友人などから勧められたので	1
会社勤めより自分の能力を発揮できるため	2
通勤など身体的な負担の軽減のため	3
自分にあった時間帯を選べるため	4
現在の収入を増やしたかったため	5
パソコンを使った仕事をしたかったので	6
就職が難しいので	7
その他（　　）	8

→ 就職が難しいと思う理由はどのようなものですか。
（例：10 社以上応募したが採用されなかった。）

問５　最近３ヶ月に依頼された請負の仕事の状況についてお答えください（アンケート配布団体以外の団体、企業から頼まれる仕事も含め、これまであなたが行ってきた請負の仕事全般についてお答えください。）。

(1)　１週間すべて何日くらい請負の仕事をしますか。当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

０～１日程度	1
２～３日程度	2
４～５日程度	3
６日程度	4
ほぼ毎日	5

(2)　仕事を行う日には、平均すると何時間くらい請負の仕事をしますか。当てはまるものを一つ選んで○で囲んでください。

２時間未満	1
２時間以上　４時間未満	2
４時間以上　６時間未満	3
６時間以上　８時間未満	4
８時間以上	5

(3)　上記の(1)と(2)で答えた請負の仕事の量についてどのように感じていますか。該当するものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

仕事の量が多すぎる	1
仕事の量は適当だと思う	2
仕事の量が少なすぎる	3
その他（　　）	4

問６　現在、あなたはアンケート配布団体から依頼される仕事もそれ以外の団体、企業から依頼される仕事も含め、請負の仕事全般について、どのような経路で請負の仕事を頼まれていますか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。そのうち、頼まれる仕事の量が最も多いと思うものは、◎で囲んでください。

なお、２又は３を選んだ場合には、具体的な団体名を記入してください。

このアンケートを配布してきた団体を通じて	1
１以外の障害者を対象とした仕事の仲介(支援)を行っている団体を通じて	2
対象を障害者に限らずに仕事の仲介(支援)を行う団体やホームページなどに登録をして	3
友人・知人などを介して	4
特定の企業（２，３に該当する場合を除く）から	5
国や地方公共団体から	6
社団や財団、特殊法人、独立行政法人（２，３に該当する場合を除く）から	7
自分のウェブサイトなどで作品を売っている	8
その他（具体的に　　）	9

（具体的団体名：　　）

問７　あなたが行う請負の仕事について、これまでに請け負ったことがあるのはどのようなものですか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。そのうち、最近の請負の仕事として最も多いと思われるものは、◎で囲んでください（アンケート配布団体から依頼される仕事もそれ以外の団体、企業から依頼される仕事も含め、これまであなたが行ってきた請負の仕事全般についてお答えください。）。

文書入力	1
テープ起こし	2
データ入力	3
ホームページ作成	4
システム設計・プログラミング	5
計算処理、情報検索	6
設計、デザイン	7
ＤＴＰ（編集）、電算写植	8
ライター、翻訳	9
調査、コンサルティング	１０
取引文書、伝票整理	１１
その他（具体的に　　）	１２

問８　あなたが今後やってみたい請負の仕事はどのようなものですか。

新しくやってみたいものをすべて選んで番号を○で囲んでください。そのうち、最もやってみたいと思うものを◎で囲んでください。

文書入力	1
テープ起こし	2
データ入力	3
ホームページ作成	4
システム設計	5
プログラミング	6
計算処理、情報検索	7
設計、デザイン	8
ＤＴＰ（編集）、電算写植	9
ライター、翻訳	１０
調査、コンサルティング	１１
取引文書、伝票整理	１２
その他（具体的に　　）	１３
特にない	１４

問９　あなたが行っている請負の仕事に関して、困ったことなどの状況についてお伺いします（アンケート配布団体から依頼される仕事もそれ以外の団体、企業から依頼される仕事も含め、これまであなたが行ってきた請負の仕事全般についてお答えください。）。

(1)　請負の仕事を進めるにあたって、これまでに「トラブル」が発生したことがありますか。

なかった	1
たまにあった	2
よくある	3

(2)　(1)で２あるいは３と答えた方にお聞きします。それは、どのような「トラブル」ですか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

仕事の量に関すること	1
仕事の納期に関すること	2
仕事の出来具合に関すること	3
報酬に関すること(金額、時期、支払い方法など)	4
その他（　　）	5

(3)　請負の仕事に関して、現在困っていることがありますか。該当する番号をすべて○で囲んでください。

仕事が少ない	1
自分に合った仕事がない	2
仕事の単価が低い	3
パソコンの機能向上やソフトの更新の費用が大きい	4
必要な機器等を揃えるのに費用がかかる	5
技能向上のための研修の機会が少ない	6
仕事をするための場所の確保	7
仕事をするための介助者の確保	8
他の者との交流が少ない	9
その他（　　）	10

問10　パソコンやインターネットの使用についてお伺いします。

(1)　あなたは、現在、パソコンやインターネットを使ってどの程度のことができますか。できるものをすべて選んで、番号を○で囲んでください。

インターネットで電子メールの送受信やホームページの検索・閲覧ができる	1
ワープロソフトや表計算ソフトで、基本的な文書や表を作成できる	2
ワープロソフトで図表や写真を取り入れた文書の作成、 表計算ソフトで関数やグラフを活用した表の作成ができる	3
ホームページの作成ができる	4
ＤＴＰソフトで版下製作ができる	5
データベースソフトでデータベースの構築ができる	6
CGソフトで、イラストや画像を作成できる	7
２次元ＣＡＤで作図ができる	8
３次元ＣＡＤで作図ができる	9
何らかのコンピュータ言語でプログラム作成ができる	１０
その他（　　）	１１

(2)　パソコンやインターネットに関する技術・知識はどのような所で学びましたか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲み、利用した団体等の名称等を記入してください。

このアンケートを配付してきた団体を活用して	1
授産施設などの福祉施設で	2
独学で（書籍、CD-ROM、通信教育などを利用）	3
就職後に職場で	4
学校の授業など教育の一環として	5
専門学校（パソコンスクールなど）に通って	6
障害者を対象とした職業能力開発校での授業	7
インターネット等でのオンライン教育（有料）	8
短期間の講習会などに参加（有料）	9
〃　（無料）	１０
知人・家族からの指導	１１
パソコンボランティアを活用して	１２
その他（　　）	１３

利用した団体等の名称

(3)　パソコンあるいは情報通信機器等を活用した仕事を行うにあたり、取得している資格等がありますか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。８を選んだ場合は具体的な資格の名称もご記入ください。

ソフトウェア開発技術者又は第１種情報処理技術者	1
基本情報技術者又は第２種情報処理技術者	2
上級システムアドミニストレータ	3
初級システムアドミニストレータ	4
Ｐ検（パソコン検定）	5
MOUS（マイクロソフトオフィシャルユーザースペシャリスト	6
MOT（マイクロソフトオフィシャルトレーナー）	7
１～７以外の資格 （具体的に　　）	8
パソコン等に関係する資格は取得していない	9

(4)　パソコンやインターネットを利用する際に、あなたの障害のために必要となる特別な器具、機器、ソフト等がありますか。１、２のいずれか該当する方を○で囲んでください。

２（ある）の場合は、下の（　）の中に具体的な器具、機器、ソフト等の名称と機能の簡単な説明、当該器具、機器、ソフト等を使うようになった経緯（どこで知ったか等）をご記入ください。

な　い	1
あ　る	2

器具・機器・ソフトの名称	機能の簡単な説明	使うようになった経緯

問11　あなたが請負の仕事をするときの介助の状況についてお伺いします。

(1) 現在、あなたが請負の仕事をするときに、誰かに介助をしてもらっていますか。いずれか当てはまるものの番号を○で囲んでください。

介助をしてもらっている	1
介助をしてもらっていない	2

(2) 請負の仕事をするときに誰かに介助をしてもらっている方におたずねします。どのようなことについて介助をしてもらっていますか。当てはまるものをすべて選んで、番号を○で囲んでください。

仕事をする場所までの移動	1
打ち合わせなどのための外出	2
電話をかける・電話に出る	3
資料を読む	4
補助器具の装着	5
パソコンの電源投入	6
プリンタへの用紙のセット	7
その他（具体的に　　）	8

(3) 請負の仕事をするときに誰かに介助をしてもらっている方におたずねします。誰に介助をしてもらっていますか。当てはまるものをすべて選んで、番号を○で囲んでください。そのうち、最も頻繁に介助をしてもらっている人の番号は◎で囲んでください。

家族	1
仕事を頼んでくる団体のスタッフ	2
友人、知人	3
ボランティア	4
自分で雇っている介助者	5
その他（具体的に　　）	6

Ⅲ　アンケート配布団体について

問 12　アンケート配布団体(このアンケートの表紙に書いてある団体のことです）についてお聞きします。

(1)　これまでにアンケート配布団体から受けたサービスは次のうちどのようなものですか。また、それらのサービスについての評価はいかがでしたか。右の空欄に記号でお答えください。なお、利用したことのないサービスは右の空欄に×印を記入してください。(大変役に立った:**A**　多少役に立った:**B**　どちらとも言えない:**C**　あまり役に立たなかった:**D**　ほとんど役に立っていない:**E**)

請負の仕事の仲介	
（雇用されて働くための）就職先の紹介	
仕事に必要な技能の修得に関する指導・講習	
仕事をするための事務所等の場所の提供	
パソコン等の機材の提供	
パソコン等の機材ソフトの使用法やトラブル解決等、実際に仕事をしながらの技術的な指導・援助	
取引先や雇用主とのトラブルの解決に関する相談	
仲間との情報交換や交流の機会の提供	
日常生活に関する相談	
その他（　　）	

(2)　アンケート配布団体のサービスを受ける理由で、最も大きいものは何でしょうか。

仕事を紹介してもらうため	1
新たな情報の収集や技能レベルの向上のため	2
わからない時にサポートを受けたいため	3
仲間との交流を広げるため	4
その他（　　）	5

(3)　アンケート配布団体についてはどのように知りましたか。

団体のホームページで	1
市、県等の広報紙等で	2
新聞、雑誌の広報、記事を見て	3
団体のポスターやチラシ、パンフレットを見て	4
学校、安定所、社会福祉施設の紹介で	5
友人、知人から紹介されて	6
その他（　　）	7

Ⅳ　請負の仕事以外も含めた就業全般について

問 13　あなたにとって望ましいと思われる就業場所はどこですか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。そのうち、最も望ましいと思うものについては◎で囲んでください。

事業所など通勤を伴う場所	1
通所授産施設、作業所以外の作業スペース（いわゆるサテライトオフィス、テレワークセンター等）	2
通所授産施設、作業所	3
自宅	4
入所施設	5
就業場所にはこだわらない	6
その他（　　）	7

問 14　企業に雇用されて働くことについてお伺いします。

(1) あなたは、請負の仕事をすることに加え、企業に雇用されて働いていますか。また、過去に企業に雇用されていたことがありますか。当てはまるものを一つ選んで、番号を○で囲んでください。

現在、企業に雇用されて働いている	1
今まで企業に雇用されていたことはあるが、現在は雇用されていない	2
今まで企業に雇用されていたことはなく、現在も雇用されていない	3

(2)　企業に雇用されて働く場合と請負の仕事をする場合では、どちらがあなたにとってよいと思いますか。最もよく当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

雇用されるのが良い	1	→(3)へ
請負の仕事の方が良い	2	→(4)へ
雇用されながら請負の仕事もするのが良い	3	→(5)へ
どちらとも言えない	4	→(6)へ

(3)　(2)の選択肢のうち、1（雇用されるのがよい）を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。

最も良く当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

収入が安定しているから	1
雇用保険や労災保険などがあるから	2
他の人と一緒に働けるから	3
その他（　　）	4

(6)へお進みください

(4)　(2)の選択肢のうち、2（請負仕事の方がよい）を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。

最も良く当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

通勤等身体的負担がない（少ない）から	1
人間関係にわずらわされないから	2
自分で仕事のペースを調節できるから	3
その他（　　）	4

(6)へお進みください

(5)　(2)の選択肢のうち、3（雇用されながら請負の仕事もするのが良い）を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。

最も良く当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

収入が十分に得られるから	1
自分の能力の向上のために適しているので	2
請負の仕事だけでは不安なので	3
その他（　　）	4

(6)へお進みください

(6)　あなたは、企業に雇用されて働くための就職活動等を行っていますか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。

アンケート配布団体の就職相談・紹介等	1
安定所での就職相談と求人情報の収集	2
新聞、求人雑誌での情報収集	3
民間の職業紹介会社の利用	4
インターネットでの求人情報検索	5
友人・知人への紹介の依頼	6
その他（具体的に　　）	7
特に活動していない	8

問15　あなたの収入についてお伺いします。

(1)　あなたの平成１３年度の年間収入は、どの程度でしたか。(すべての収入の合計で答えてください。)８００万円以上に該当する方は参考とさせていただきたいので（　　）内に概ねの収入額（５０万円単位程度）をお知らせください。

収入なし	1
年収　２５万円未満	2
年収　２５万円以上　　５０万円未満	3
５０万円以上　　７５万円未満	4
７５万円以上　１００万円未満	5
１００万円以上　１５０万円未満	6
１５０万円以上　２００万円未満	7
２００万円以上　３００万円未満	8
３００万円以上　５００万円未満	9
５００万円以上　８００万円未満	１０
８００万円以上（　　万円程度）	１１

(2)　上記(1)で答えた収入のうち、請負の仕事で得られた収入はどのくらいになりますか。８００万円以上に該当する方は参考とさせていただきたいので（　　）内に概ねの収入額（５０万円単位程度）をお知らせください。

収入なし	1
２５万円未満	2
２５万円以上　　５０万円未満	3
５０万円以上　　７５万円未満	4
７５万円以上　１００万円未満	5
１００万円以上　１５０万円未満	6
１５０万円以上　２００万円未満	7
２００万円以上　３００万円未満	8
３００万円以上　５００万円未満	9
５００万円以上　８００万円未満	１０
８００万円以上（　　万円程度）	１１

(3)　(1)で答えた収入のうち、請負の仕事以外での収入はどのようなものがありますか。当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。

企業からの給与	1
保護者からの補助等	2
配偶者の収入	3
障害者年金	4
生活保護	5
その他（　　）	6
特になし	7

V　あなたの障害等の状況について

＜ここからの質問では、あなたの障害の状況などについてお伺いします。障害者の方々が自分に合ったかたちで働くことができるようにするために、様々な障害の状況に応じて、どのような支援を行うのがよいかを検討するために必要な情報ですので、是非ご協力くださるようお願いします。お答えいただいた内容は、すべて統計的に集計を行いますので、個人個人の答えの内容が外部に公表されたりすることはありません。＞

問 16　あなた自身のことについて、お伺いします。

(1)　年齢をお聞かせください。

	歳

(2)　性別をお聞かせください。

男　性	1
女　性	2

(3)　あなたの障害の種類について、当てはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。複数の障害を選んだ方で、いずれか一つの程度が特に重い場合には、その障害の番号は◎で囲んでください。

身体障害	視覚障害	1
	聴覚・言語障害	2
	肢体不自由	3
	内部障害	4
知的障害*1		5
精神障害*2		6
その他の障害		7

*1　知的障害は、療育手帳（東京は「愛の手帳」）を所持する方とします。
*2　精神障害は、精神分裂病、躁うつ病、てんかんを有する方もしくは精神保健福祉手帳を所持する方とします。

(4)　身体障害をお持ちの方は、障害等級について、当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください（手帳に記載されている内容で結構です。）。

1級	1
2級	2
3級	3
4級	4
5級	5
6級	6
7級	7
手帳はない	8

(5)　障害を持つようになった時期について、当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

１歳児までの間	1
１歳児から小学校卒業までの間	2
中学入学から最終学校卒業までの間	3
卒業後（在職中）	4
卒業後（無職中）	5
その他	6

(6)　装具、補助具等の利用状況について、当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲んでください。

白杖	1
補聴器	2
車椅子	3
電動車椅子	4
人工透析	5
その他(具体的に　　)	6
特にない	7

(7)　最後に卒業した学校もしくは現在在学中の学校について当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

中学校	1
高校	2
盲・聾・養護学校中学部	3
盲・聾・養護学校高等部	4
専門学校	5
短大	6
四年生大学	7
大学院	8
その他（　　）	9

(8)　上記(7)の学校を卒業した直後の進路について、当てはまるものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

就職	1
家業・家事手伝い	2
授産・更生施設	3
作業所	4
入院加療	5
その他(　　)	6

問 17　障害者在宅就業仲介(支援)団体等のサービス内容など、請負の仕事を行うに当たって日頃感じていること、ご意見があればご自由にご記入ください。

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。